

3

## No title available

**Publication number:** JP60046681U

**Publication date:** 1985-04-02

**Inventor:**

**Applicant:**

**Classification:**

- international: *H01R33/76; H01L23/32; H01R33/96; H01R33/97;  
H01R33/975; H01R33/76; H01L23/32; H01R33/00;*  
(IPC1-7): H01R33/76; H01L23/32

- European:

**Application number:** JP19830138097U 19830906

**Priority number(s):** JP19830138097U 19830906

**Report a data error here**

Abstract not available for JP60046681U

---

Data supplied from the **esp@cenet** database - Worldwide

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭60-46681

⑬ Int. Cl.<sup>4</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和60年(1985)4月2日

H 01 R 33/76  
// H 01 L 23/32

6625-5E  
6428-5F

審査請求 未請求 (全2頁)

⑮ 考案の名称 電子部品用ソケット

⑯ 実 願 昭58-138097

⑰ 出 願 昭58(1983)9月6日

⑱ 考 案 者	池 浦 保	川崎市中原区上小田中1015番地	富士通株式会社内
⑱ 考 案 者	阿 久 津 利 一	川崎市中原区上小田中1015番地	富士通株式会社内
⑱ 考 案 者	須 磨 達 美	川崎市中原区上小田中1015番地	富士通株式会社内
⑱ 考 案 者	草 谷 敏 弘	川崎市中原区上小田中1015番地	富士通株式会社内
⑰ 出 願 人	富士通株式会社	川崎市中原区上小田中1015番地	
⑰ 代 理 人	弁理士 松岡 宏四郎		

⑲ 実用新案登録請求の範囲

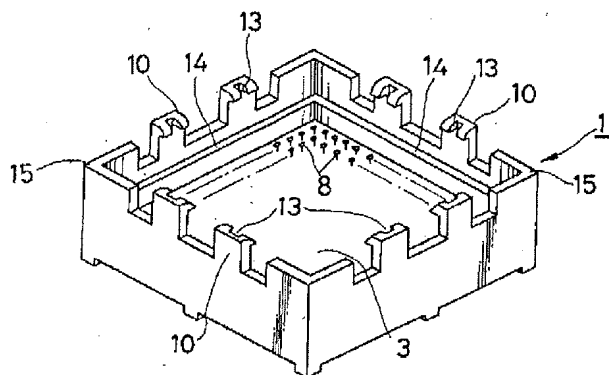
実装すべき電子部品と略同等の平面積を有する絶縁性の本体部に、該本体部上方へ突出するコンタクトピンを有すると共に本体部下方へ突出する接続ピンを有するスプリングコンタクトを格子状に多数植設し、上記本体部の周囲には弾性的に拡張収縮して上記電子部品の周縁部を係止するロック片を立設し、上記スプリングコンタクトの内装スプリングによる押し上げ力とロック片の係止とにより電子部品を実装保持すると共に該電子部品底面の信号ピンにコンタクトピンを接触させるようにしたことを特徴とする電子部品用ソケット。

図面の簡単な説明

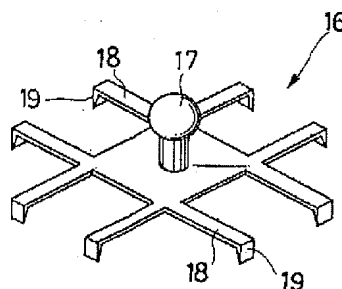
第1図は本考案による電子部品用ソケットを示す斜視図、第2図は電子部品を実装した状態を示す一部破断正面図、第3図は取外し工具を示す斜視図、第4図は上記取外し工具を使用してソケットから電子部品を取り外す状態を示す一部破断正面図である。

1…電子部品用ソケット、2…電子部品、3…本体部、4…スプリングコンタクト、5…信号ピン、7…コイルスプリング(内装スプリング)、8…コンタクトピン、9…接続ピン、10…ロック片、11…テーパ部、12…鉤部、13…切欠溝。

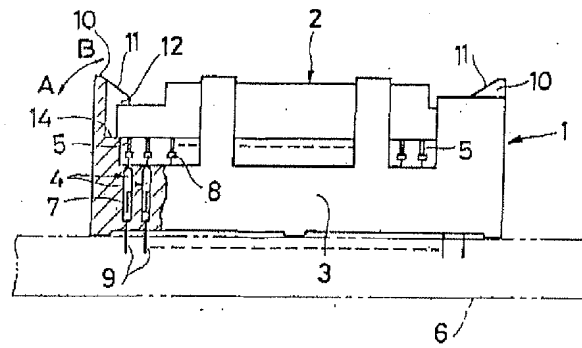
第1図



第3図



第2図



第4図

